

9月のお祝い

誕生祝い

樋口金占さん 1日	芦田恵登さん 3日
山本 充さん 2日	樋口トシさん 3日
石月雅司さん 11日	丸山明子さん 18日
	鈴木成子さん 27日
	平松正子さん 28日

結婚記念日

淵岡 茂・文ご夫妻 11日



四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

10月5日例会：「命の水シリーズ」終末処理場見学

10月12日例会：米山奨学、ボランティア委員会報告



三条北ロータリークラブ週報

行動に信念を—信念は行動に—

BELIEVE IN WHAT YOU DO —
DO WHAT YOU BELIEVE IN —
国際ロータリー会長 ロバート R. パース 第2560地区ガバナー 細瀬久雄

例会日
1993. 9 . 28
累計 No 335
当年 No 12

会長/羽賀 一 夫

幹事/長谷川 博一

SAA/早川 龍雄

例会日/火曜日 PM12:30~1:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局/三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

FAX ☎33-8972

行事：新会員入会式（平山 誠さん）

ライラ研修体験発表及び修了修証書授与式

柄沢ライラ委員長、ライラ研修生：岩井純子さん、山田直子さん、

阿部裕司さん、沢栗康司さん、羽賀一真さん

出席：本日の出席 55名中36名

先週の出席率 55名中53名 96.36%（前年同期89.29%）

先週のメイクアップ：9月23日 新潟万代RC（認証状伝達式）へ 梨本清一さん 中条耕二さん

羽賀一夫さん

27日 三条南RCへ 平松利朗さん 加藤 実さん 中条耕二さん

落合益夫さん 佐藤義英さん 山口龍二さん

山本 充さん 米山忠俊さん

13日 三条南RCへ 加藤 実さん 南部鉄血さん 佐藤文夫さん

ビジター：三条RCより 野村竹三郎さん 近藤雄介さん

三条南RCより 吉井正孝さん 馬場信彦さん

ゲスト：岩井純子さん、山田直子さん（三之町病院勤務）

阿部裕司さん、沢栗康司さん（㈱柄長勤務）

羽賀一真さん（㈱ホストクレーン勤務）

会長挨拶：羽賀一夫

今日は秋晴れの爽やかな日です。こんな日はメイクアップをして気の合った仲間とゴルフをしたいものです。

先週は初の一泊夜例会に大勢参加下さいまして有り難うございました。まわりは馬鹿騒ぎをしておりましたが、私はいつものとおり一人で静かに酒を飲み早めに寝ましたけれど翌日は二日酔いでした。家に帰ったうちの五月みどりはふらついている私に近付きませんでした、悪い女です。

今日は先日赤城の山に2泊3日たてこもりライラ研修に参加しました、5人の若者と2人の年寄りの帰国報告が有ります、どうぞ静聴下さい。

幹事報告： 長谷川（博）幹事

- ◇ 新発田中央RCより「認証状伝達式」2名以上登録のお願い
日時 平成5年11月20日（土）
会場 月岡温泉 ホテル泉慶
- ◇ ガバナーよりロータリーソング「四つのテスト」のテープの送付がありました。閉会点鐘の前にご唱和下さい。
- ◇ RI日本支局財務室よりロータリーレート変更のご案内
現行1ドル110円→10／1より105円に
- ◇ 地区国際奉仕委員長より「世界社会奉仕プロジェクト交換」の資料送付がありました。
- ◇ RI日本支局より「新文献の青少年交換要覧」が発行され、送付がありました。
- ◇ 地区オン・トク台北委員長より94年RI国際大会の登録について
参加26千余名のうち日本から12000名の参加を予定しているのでご協力をお願いしたい。
- ◇ 県共同募金会三条支会より「知名人街頭募金」の実施について
日時 平成5年10月1日（金）
場所 まるよし本店前 10：00～11：30

新会員紹介

氏 名 平山 誠さん
生 年 月 日 昭和25年6月20日
勤 務 地 平山司法書士事務所
役 職 名 所 長
勤 務 先 住 所 三条市東裏館2丁目7番27号
☎35-2229 FAX35-2272
自 宅 住 所 三条市旭町2丁目2番35号 ☎32-5322
家 族 構 成 妻、さなゑさん 長男、勝也さん 次男、貴士さん
長女、朋世さん 母、スガさん
趣 味 テニス（25才から）
結 婚 記 念 日 昭和48年1月28日
職 業 分 類 司法書士
スポンサー 山上茂夫さん、佐藤文夫さん



委員会報告：

- * 環境保全委員会 馬場委員長

別に賞品をとろうと思って頑張ったわけではないが、「何かを得て帰る」という使命を帯びてライラに参加したのにとって、シャレではないが、なんともウレシイおみやげとなった。本当に全力をつくした結果であったので非常に満足した。

前置が長くなったので本題に入るが、本来、ライラの主旨は精神と心の感性を磨くことである。これについての感想をやや正直に書く。

1日目の講話、「心の豊さを求めて」。お寺の住職さんのお話であった。普段我々が忘れている人間の本当の心というものについて学ぶ、本当に素晴らしい講話であった。人生を生きるにおいて、世間を生きるにおいて、本来人間はこうあるべきなんだな、とつくづく思った。

しかしである。その後、皆でディスカッションをやった時、皆も正直に言っていたが、「心を磨く」と言っても、はたしてこのライラから帰り、普段の生活に戻った我々で、「心を磨く」といったことを本当にするであろうか。

私は思うに、我々の生きてる世間はその住職先生のおっしゃった「理想」のように、そんなに甘くないと思った。皆が皆、この世間の荒波の中で生きるのに必死である。私もその1人である。ライラより帰った若者達が、それで本当に心の豊かさを求め「られる」であろうか。心を磨「ける」であろうか。「理想」は実現しなければ、所詮「理想」である。仏門に入ってからとりをひらくのもそれはそれだが、この社会で生きる以上、人とはずれて実現不可能を唱えて世間に反する方がよほど反社会的となるのではないだろうか。

私自身は我々の生きるこの「俗世間」が好きである。このドロドロした理不尽な社会がむしろ私には好きである。

いや、好きになるように努力した、と言う方が正確であろう。

もちろん私ももっと若い頃はもっと道徳的で理想を描いて生きていた頃もあった。しかし、それが極端すぎたのか、周囲の流れに合わず、浮いてしまい、ついには孤立してしまった時期があった。今思えばバカな事をしてたもんだと思うが、それ以来私は、むしろこの世の中というものを素直に認め、流れに逆らわず、そして強く生きていこうと心に誓い、自分を改造するのに決死の努力であった。本来理想家で道徳ばかりを考える自分にとって、これこそまさに酷なことであった。考えすぎて死にたいと思ったことすらあった。しかしこれがまた努力に勝るものはないとはよく言ったもので、こんな私でも世間の波に少しずつたぐ乗れるようになってきたのだ。今ではこの非理想的な自分も世間も、ようやく好きになって来たのである。

おそらく将来、父の仕事を継がなければならない私にとって、これは大事だと思う。私の父の教育方針でもあるように、「若いうちからあまり物事をさとしてしまったようになるな、むしろ何もわからずとも、手さぐりで必死に人生を生きれ」と、私の心を磨くのはまさにこれである。

これからの長い人生、オリエンテーリングのように、手さぐりで必死に生き、そしてぜひとも満足のいく、「勝利」を勝ちとりたいと思う。
平成5年9月末日